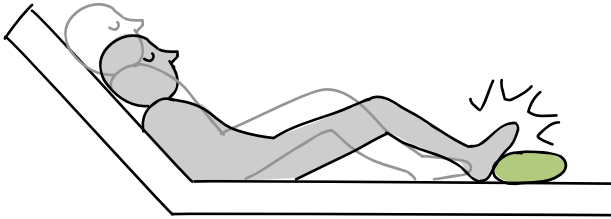


湯たんぽによる熱傷注意！！

事例 ② 麻痺のある患者さんをギャッチアップして、膝の下に枕を入れた。下肢の冷感があり、湯たんぽを 15cm 離して置いた。2 時間後に訪室すると身体がずり下がり、かかとが湯たんぽに密着していたため、低温やけどになった。



チェックポイント

- 「熱いと感じられない」「伝えられない」「自分で動けない」患者さんは要注意！
 - 意識障害、神経障害、麻痺がある患者さんや、眠剤などを使用している患者さん
 - 高齢の患者さん、乳幼児の患者さん
 - 運動機能障害がある患者さん
- 体位交換やベッドのギャッチアップ時は要確認！



患者さんの状態や低温やけどのリスクについて話合ってみよう！